

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考																				
大場洋介	1	今後の食料・農業・農村基本法に関する方向性について	コメの価格高騰などを背景に農業の持続的経営の重要性が指摘される中、町の基幹産業である農業については様々な農業振興や担い手対策に苦慮している状況。 地域計画の策定後、農業振興ビジョンの見直しや農地・農業者に関する具体的なビジョンを数値化する必要がある。また新基本法では生産段階での温室効果ガスについても「みどりの食料システム戦略」にて対応が求められるとされており、地域の実情や10年後を見据えた新基本計画を策定する上での方向性と整合性の考えを町長に伺う。 ① 温室効果ガス排出削減や生物多様性の保全などの環境負荷低減の進め方は ② 27年度を目標に創設される環境直接支払交付金などへの農業分野での対応は ③ 地域計画と連携し、市町村によるオーガニックビレッジの展開などへの有機農業の拡大計画は ④ 人口減少・高齢化に応じた地域の共同活動を支援する多面的機能の発揮を図る対策は ⑤ 温暖化・自然災害・病虫害などでの農業者の減少を鈍化する上での生産性向上と経営リスクへの対策は																					
須藤典夫	1	義務教育学校（9年制学校）導入について	今後の児童生徒数の推移をみると減少が続き、小中学校の運営も課題が多くなるのではと思われる。 児童生徒数の推移（令和7年現在） <table border="1"> <tr> <td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr> <td>354人</td><td>340人</td><td>320人</td><td>312人</td><td>303人</td></tr> <tr> <td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td><td>R12</td></tr> <tr> <td>290人</td><td>269人</td><td>258人</td><td>249人</td><td>227人</td></tr> </table> 鈴木教育長は「義務教育学校」の導入に関心を示されているが、子供たちへのメリットをどのように考えているのか。 今後、検討委員会の設置を経て概要を構築されると思うが、仮称（金山学園）開園までのスケジュールを伺いたい。	R3	R4	R5	R6	R7	354人	340人	320人	312人	303人	R8	R9	R10	R11	R12	290人	269人	258人	249人	227人	
R3	R4	R5	R6	R7																				
354人	340人	320人	312人	303人																				
R8	R9	R10	R11	R12																				
290人	269人	258人	249人	227人																				

一 般 質 問 総 括 表

(令和7年12月議会定例会)

No.2

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
	2	仮称「道の駅金山」建設調査検討の継続を望む	令和5年3月定例議会でポストコロナ交流人口拡大対策特別委員会の町の活性化策としての調査報告書の中で高規格道路開通に合わせた「道の駅」建設が望まれる」とした調査報告されている。 これを受けて「職員プロジェクトチーム」が検討を進めていただいて来ているが、今年の報告は何故か無かった。 「新庄インターチェンジ付近の道の駅」建設の研究報告まとめ、町の将来を見据えた道の駅はどうあるべきかを町長を先頭に検討を行う時期にあると思うが、町長の考えを伺いたい。	
中村忠行	1	町で目指すべき生涯学習は	① 町で目指すべき教育指針は ② 子ども・若者健全育成の指針は ③ 社会教育の指針は	
矢口政一	1	町の将来を見据えた事業展開について	令和7年度、職員プロジェクトチームから事業提案書が報告され、6事業について提案されましたが、町の評価と・施策展開の考えを改めて伺う。 ① 定住促進・空き家活用住宅改修事業 ② かねやま移住ガイドブックの作成 ③ 出産祝金の拡充 ④ 廃校活用事業 ⑤ かねやまワーキングホリデー ⑥ アパート建設（民間運営）	

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
五十嵐優一	1	生活排水処理施設整備について	(1) 生活排水処理基本計画への対応について 生活排水対策の基本方針は、「水の適正利用に関する啓発を行うとともに、生活排水処理施設を逐次整備していくこととするが、生活排水処理施設整備の基本方針については水洗化の促進を図る。」とされている。施設整備の実績、課題、対策等は。 ① 既存施設の能力等について 処理施設等の計画汚水量に対する流入量 ② 生活排水処理率（水洗化率）、水洗化・生活雑排水処理人口について ③ 不明水対策について（解体後の排水設備等の処理を含む） (2) 農業集落排水施設と公共下水道の統合について 農業集落排水処理施設の効率的な活用と公共下水道の維持による安定化と経営改善を図る。（既設の計画処理能力に対して） ① 処理水量（一日最大処理水量）について 農業集落排水施設を公共下水道に接続 ② 施設の整備条件等 管渠の口径等 ③ コスト比較 農業集落排水処理場の維持管理費、管渠等工事費 ④ 制度上の条件について 補助事業等で制約される内容 ⑤ メリットとデメリット（統合等の事例等を含む）	